日　本　史　B

（解答番号 1 ～ 32 ）

第１問　マリさんとケントさんは，高校の授業で「地図から考える日本の歴史」という課題研究に取り組むために，各自で地図を持ち寄り話し合うことになった。次の二人の会話**A**・**B**や資料を読み，後の問い（**問１～６**）に答えよ。（資料は，一部省略したり，書き改めたりしたところもある。）（配点　18）

A

マ　リ：私は，鎌倉時代に作られた**地図１**を持ってきたよ。

地図１



（仁和寺所蔵「日本図」）

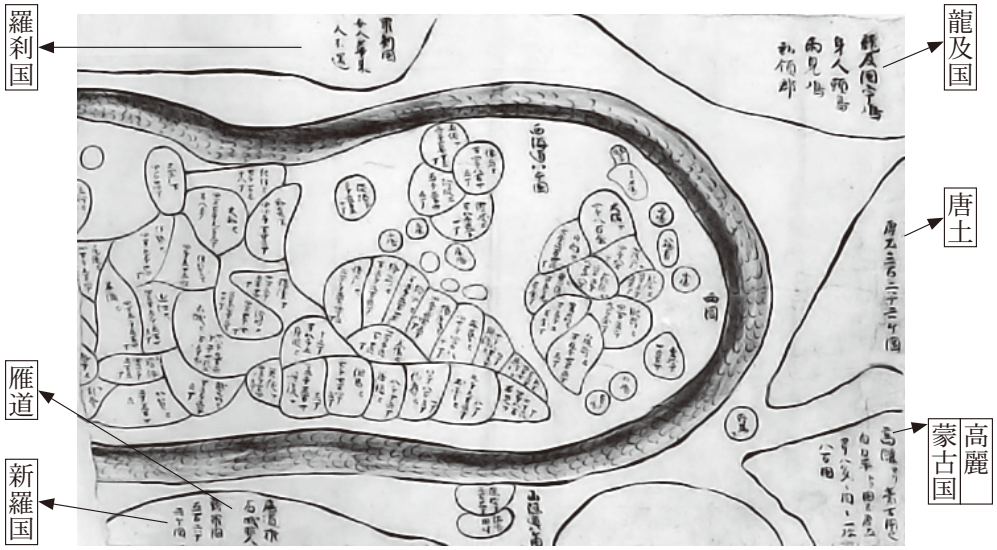
ケント：これが日本地図？　左に東日本が描かれているよね。

マ　リ：中国地方の一部と九州地方は残っていないんだけどね。山城国を起点に，畿内・七道を線で結んでいるんだ。

ケント：七道は古代の道路で，ⓐ古代の行政区分でもあるんだよね？　諸国の形は大ざっぱだね。

マ　リ：畿内・七道それぞれに諸国の位置関係が分かれば良かったんじゃない？これと同じくらいの時期に作られた地図で，**地図 2** も持ってきたよ。九州，四国と本州の西側の部分だけが残ってるんだ。

地図 2



（称名寺蔵，神奈川県立金沢文庫保管「日本図」）

ケント：日本列島の周りを取り囲んでいるのは何だろう？

マ　リ：龍だという説があるよ。その外側には，ⓑこの地図が作製された時点で実在していた国のほかに，すでに存在しない国や，想像上の国も描かれているんだって。

ケント：へえ，面白いね。「羅刹国（らせつ）」や「雁道（かりのみち）」が想像上の国なんだ。

マ　リ：ⓒ古代や中世の境界に対する意識は，それぞれ異なった特徴がありそうだね。

日本史B

問 1　下線部ⓐに関連して，**史料 1 ～ 3** から読み取れる内容について述べた文として正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 1

史料 1

行方郡。(中略)癸丑の年(注 1)，茨城の国造小乙下壬生連麿，那珂の国造大建壬生直夫子等，総領(注 2)高向の大夫・中臣幡織田の大夫等に請いて，茨城の地の八里と那珂の地の七里とを合わせて七百余戸を割きて，別けて郡　家を置けり。　(『常陸国風土記』)

(注 1)　癸丑の年：653 年。以下の記述は，常陸国行方郡成立の経緯を説明している。
(注 2)　総領：現在の関東地方を広域的に統轄するため，朝廷から派遣された官人。

史料 2

(天武 13 年 10 月)伊勢王等を遣わして，諸国の堺を定めしむ。

(『日本書紀』)

史料 3

(養老 2 年 5 月)陸奥国の石城・標葉・行方・宇太・曰理と常陸国の菊多(注 3)との六郡を割きて石城国を置く。(中略)常陸国多珂郡の郷二百一十烟(注 4)を割きて名けて菊多郡と曰いて石城国に属く。

(『続日本紀』)

(注 3)　陸奥国の石城・標葉・行方・宇太・曰理と常陸国の菊多：現在の宮城県・福島県の一部。
(注 4)　烟：戸のこと。

① 国郡の設定や分割は，地方豪族の話し合いで決定した。
② 石城国は，既存の一か国を分割して作られた。
③ 常陸国行方郡は，大化改新より前に国造の支配領域を分割して作られた。
④ 国郡の行政区画の変更は，大宝律令の制定以降にも行われた。

問 2　下線部ⓑに関連して，中世における東アジアの出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 2

Ⅰ　幕府は，天龍寺の造営のために元に貿易船を派遣した。

Ⅱ　元への服属に抵抗した三別抄が反乱を起こし，日本に援軍を求めた。

Ⅲ　尚巴志が三山を統一して琉球王国を建てた。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ　② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ　③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ　⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ　⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 3　下線部ⓒに関連して，マリさんは，**地図 1** に書かれている関について，先生に質問した。次の**先生の説明**を踏まえ，古代・中世の境界に対する意識について述べた後の文**X**・**Y**の正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 3

先生の説明

地図 1 の逢坂（おうさか）の関は，山城国と近江国の国境の逢坂山に置かれた関だよ。この関では穢や疫病を外に追いやる祭祀（さいし）が行われたんだ。また古代では国家の非常時に関を封鎖し，都からの交通路を遮断しているよ。平城太上天皇の変（薬子の変）の時には，嵯峨天皇が逢坂の関を守らせたんだ。

白河の関は，陸奥国への入り口だね。古代陸奥国は，北側は蝦夷と境界を接していたんだ。中世になると，外浜（そとのはま）（津軽半島の東側）が日本の東端として意識され，北海道が夷島（えぞがしま）（蝦夷島）と呼ばれるようになるんだよ。**地図 2** の東日本の部分が残っていれば，列島を囲う龍は津軽海峡あたりを通っていただろうね。津軽の安藤（安東）氏が鎌倉幕府からこの境界地域の管轄を任されていて，彼らを通じて，昆布や，アザラシの毛皮などの北方産物が交易されていたんだ。

X　古代の関には，反乱を起こした人物が地方に逃亡するのを防ぐ役割もあったと考えられる。

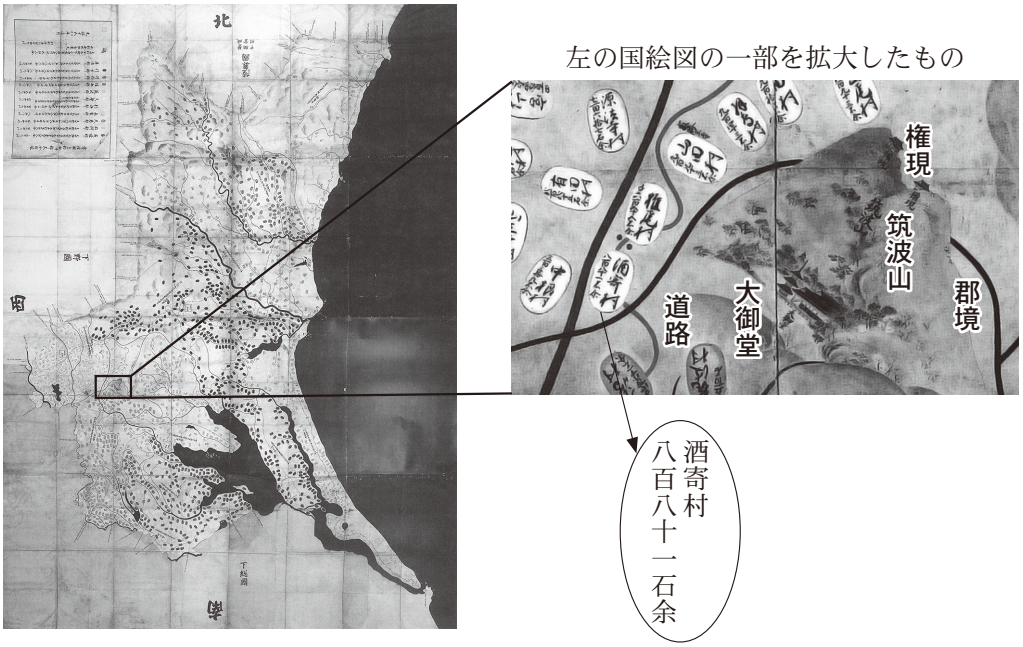
Y　中世では，境界の外側は隔絶された異域と認識され，その地の産物は忌避されたと考えられる。

① **X**　正　　**Y**　正　　② **X**　正　　**Y**　誤

③ **X**　誤　　**Y**　正　　④ **X**　誤　　**Y**　誤

B

地図 3



（「元禄常陸国絵図」）

ケント：次は私の番だね。**地図 3** は，江戸幕府が諸藩などに命じて作らせた国絵図だよ。江戸時代を通じて，幕府はこのような国絵図を何度も作らせたんだ。

マ　リ：拡大してみると，国内の代表的な山や寺社も描かれているのが分かるね。小判型に描かれているのは村だね。

ケント：**地図 3** は元禄期に作られたもので，幕府は国絵図を提出させて，［ ア ］を確認していたんだ。

マ　リ：へえ，そうなんだ。江戸時代の地図と言えば，西洋天文学に基づいて海岸測量で日本全図の作製に取り組んだのは，伊能忠敬だったよね？

ケント：彼は蝦夷地の測量をまず行ったんだけど，それは［ イ ］に関係していたんだ。幕府は彼の地図の正確さを認めて，それが日本全図の作製につながったんだよ。

マ　リ：そうか，正確な地図が必要とされたんだね。

ケント：うん。伊能忠敬の地図は，幕末に日本に来航した外国船が日本近海を測量して海図を作製した際にも利用されたんだよ。

マ　リ：陸地の地図ばかり考えていたけど，海の地図もあったよね。

ケント：海図は，軍事的な目的だけではなく，ⓓ大型商船や客船が座礁しないようにするためにも必要だったんだね。

マ　リ：地図からはいろいろなことが分かるんだね。これでうまく課題をまとめられそうだ。

問 4　空欄［ ア ］［ イ ］に入る文の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 4 ］

① ア　各地の村高
　 イ　幕府が東蝦夷地を直轄地としたこと

② ア　各地の村高
　 イ　ロシアとの間で国境が定められたこと

③ ア　各地の田畑の耕作者
　 イ　幕府が東蝦夷地を直轄地としたこと

④ ア　各地の田畑の耕作者
　 イ　ロシアとの間で国境が定められたこと

日本史B

問 5 下線部④に関連して，近代日本における測量や海図に関する事例について述べた次の文**X**・**Y**と，それに関連する事項**a** ～ **d**との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 5

X 朝鮮沿岸に派遣された日本の軍艦が，測量しつつ挑発行為を行ったことをきっかけとして，朝鮮との間に軍事衝突が起こった。

Y 戦争に伴う輸出増加によって海運業が活況となり，海図や水路図誌の需要が高まった。

a 江華島事件　**b** 甲申事変　**c** 日露戦争　**d** 第一次世界大戦

① **X** ― **a**　**Y** ― **c**　② **X** ― **a**　**Y** ― **d**
③ **X** ― **b**　**Y** ― **c**　④ **X** ― **b**　**Y** ― **d**

問 6 最後に，マリさんとケントさんは，話し合った内容を整理して，「地図から考える日本の歴史」について考えたことをまとめた。二人がまとめた次の文**a** ～ **d**について，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 6

a 古代の律令制では，七道が行政区画の単位として用いられており，国と国との境は確定されなかったと考えられる。

b 中世では，想像もまじえて，日本列島とそれをとりまく海や地域を描いた地図も作製されたと考えられる。

c 近世，幕府が国絵図を提出させたのは，全国を支配していることを確認する目的があったと考えられる。

d 近代になると，陸の地図より海図が重視され，それ以前の日本の地図は顧みられなくなったと考えられる。

① **a**・**c**　② **a**・**d**　③ **b**・**c**　④ **b**・**d**

第 2 問　日本古代の陰陽道の歴史について述べた次の文章**A**・**B**を読み，後の問い（**問 1** ～ **5**）に答えよ。（史料は，一部省略したり，書き改めたりしたところもある。）（配点　16）

A

ⓐ陰陽道は，中国から伝来した暦学や天文学，陰陽五行思想などに基づき，徐々に形成されていった。

律令制下ではそれらの技術や思想を管轄するⓑ陰陽寮が設置された。陰陽寮は天文，暦や時刻のことに携わり，異変があった時には，国家的な災害や異変の予兆かどうか判定を行った。地方においても，大宰府には律令制定段階から陰陽師が置かれた。

9 世紀以降，情勢が不安定となった東北地方や東国にも陰陽師が置かれるようになった。一方，ⓒ怨霊や疫神をまつって災厄をのがれようとする信仰が広まるなか，陰陽寮に属する陰陽師たちは災害や異変の元凶を取り除く祭祀（さいし）にも従事していった。10 世紀になると陰陽師は，天皇や貴族たち個人の要請にも応え，事の吉凶を占ったり，呪術を施したりした。

問 1　下線部ⓐに関連して，陰陽道が成立する以前の日本列島の信仰のあり方について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 7

① 土偶は男性をかたどったものが多く，災いを避けるために一部が破壊されたものも多い。

② 邪馬台国の女王卑弥呼は，鬼道（呪術）を操る司祭者的な性格をもっていたとされる。

③ 宗像大社が神としてまつる壱岐島には，古墳時代の祭祀遺物が見られる。

④ 祓とは，身体についた穢を落とし清めるために，鹿の骨を焼く行為をいう。

日本史B

問 2 下線部ⓑに関連して述べた次の文**X**・**Y**と，それに該当する役所**a** ～ **d**との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 8

X 陰陽や天文，暦の技術は国家から重視されたため，陰陽寮は，天皇の詔書作成などを担当する八省筆頭の役所の下に置かれた。

Y 安倍晴明は陰陽寮の官人として出仕したが，天皇のそばに仕えて機密文書を扱う役所で陰陽師としても活動した。

a 兵部省　　**b** 中務省　　**c** 蔵人所　　**d** 検非違使庁

① **X** ― **a**　**Y** ― **c**　　② **X** ― **a**　**Y** ― **d**
③ **X** ― **b**　**Y** ― **c**　　④ **X** ― **b**　**Y** ― **d**

問 3 下線部ⓒに関連して，死後に怨霊となって祟(たた)りをなしたと言われている人物に関して述べた次の文**Ⅰ**～**Ⅲ**について，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 9

Ⅰ 藤原氏を外戚としない天皇によって重用され，その天皇の退位後に右大臣となったが，対立する藤原氏の策謀によって大宰府に左遷された。

Ⅱ 左大臣として政界を主導したが，外戚の地位が危うくなった藤原氏兄弟の策謀に陥り，謀反の罪をきせられて自殺した。

Ⅲ 天皇の弟で皇太子であったが，新都造営の責任者が暗殺された事件の首謀者とされ淡路国へ流刑となり，その途上で餓死した。

① **Ⅰ** ― **Ⅱ** ― **Ⅲ**　② **Ⅰ** ― **Ⅲ** ― **Ⅱ**　③ **Ⅱ** ― **Ⅰ** ― **Ⅲ**
④ **Ⅱ** ― **Ⅲ** ― **Ⅰ**　⑤ **Ⅲ** ― **Ⅰ** ― **Ⅱ**　⑥ **Ⅲ** ― **Ⅱ** ― **Ⅰ**

B

陰陽寮の重要な仕事の一つに，暦の作成があった。古代の暦のなかには，ⓓ日の吉凶(暦注)を記した具注暦と呼ばれるものがあった。作成された具注暦は，まず天皇に奏上され，天皇から太政官を通じて各官司などに下賜され，下級官司や地方官衙などでも書き写して備えられた。具注暦は行政の現場で文書行政や徴税納期の管理などに用いられた。

具注暦は，役所だけではなく個人でも利用された。平安時代になると，摂関家や上級貴族たちは，具注暦を入手し，それを利用して日記を書き残すこともあった。それらを見ると，その日に行われた政務や儀式，日常の行動が細かく記されている。

日本史B

問 4 下線部①に関連して，次の**史料 1 ・ 2** を踏まえ，古代社会における暦の影響に関して説明した後の文**X**・**Y**について，その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 10

史料 1

国務条事

一，任国に赴く吉日時の事

新任の吏(注 1)，任国に赴くの時，必ず吉日時を択(えら)び，下向(げこう)(注 2)すべし。

一，吉日時を択びて，館(たち)(注 3)に入る事

着館(ちゃくかん)の日時は，在京の間，陰陽家において撰定(せんてい)せしむ。

一，吉日を択びて，交替政(こうたいせい)(注 4)を始め行う事

(『朝野群載』)

(注 1) 新任の吏：新たに任命された国司。
(注 2) 下向：京から任国へ下ること。
(注 3) 館：任国に設けられた国司の居館。
(注 4) 交替政：新任国司が前任国司と交代する手続き。行政事務の一つ。

史料 2

遺誡(ゆいかい)(注 5)幷(ならび)に日中行事

先(ま)ず起きて，(中略)次に鏡を取りて面(おもて)を見，暦を見て日の吉凶を知る。(中略)次に昨日のことを記せ。次に粥(かゆ)を服す。次に頭を梳(けず)り(注 6)，次に手足の甲(つめ)を除け。次に日を択びて沐浴(もくよく)せよ。(中略)年中の行事は，ほぼ件(くだん)の暦に注し付け，日ごとに視(み)るの次(ついで)に先ずその事を知り，兼ねてもって用意せよ。

(「九条殿遺誡」)

(注 5) 遺誡：ここでは藤原師輔(道長の祖父)が子孫に残した訓戒。
(注 6) 頭を梳る：髪をとかす。

X　中央や地方の政務には，暦に書かれたその日の吉凶が利用されていた。

Y　貴族の日常生活は，具注暦に記入された暦注に影響を受けていた。

① **X**　正　　**Y**　正　　② **X**　正　　**Y**　誤

③ **X**　誤　　**Y**　正　　④ **X**　誤　　**Y**　誤

問 5　文章**A**・**B**や**史料**1・2を踏まえて，古代の陰陽道や貴族の生活について説明した次の文**a**～**d**について，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 11

a　天皇が暦を下賜したのは，天皇が時間を支配していることを示す意味があったと考えられる。

b　地方の役所には陰陽師が置かれ，暦を独自に作成していたと考えられる。

c　貴族にとって重要な年中行事は，具注暦を利用した日記に書き込まれ，前々から準備を始めていたと考えられる。

d　陰陽師は，物忌・方違や穢の発生など，貴族の個人的な吉凶は占わなかったと考えられる。

① **a**・**c**　　② **a**・**d**　　③ **b**・**c**　　④ **b**・**d**

日本史B

第 3 問　次の文章は，中世の京都について調べている高校生のユウカさんとキョウさんとの会話である。この文章を読み，後の問い(**問 1 ～ 5**)に答えよ。(資料は，一部省略したり，書き改めたりしたところもある。)(配点　16)

ユウカ：中世の京都の特徴って何だろう。中世にも政治を担う権力者たちが多く住んでいたと思うんだけど，なんだか印象が薄い気がする。

キョウ：でも実際に，ⓐ平安時代後期から鎌倉時代に政治を担った権力者たちが新しい仏教の流行に乗って平安京周辺に多くのお寺を造らせているよ。

ユウカ：中世は仏教が栄えた時代と教わったけど，中国から最先端の教えがいち早く京都に伝わったのは，権力者が深く関わっていたからかな。政治の中心であったからこそ，京都に最先端の文化が伝わったってことだね。

キョウ：いくつか本を読んでみると，京都に住む権力者たちに物資が集まったことによって，京都の経済がどんどん発達していったことが強調されているよ。

ユウカ：ⓑ室町幕府が京都の経済活動に深く関わっていたことはよく聞くなあ。

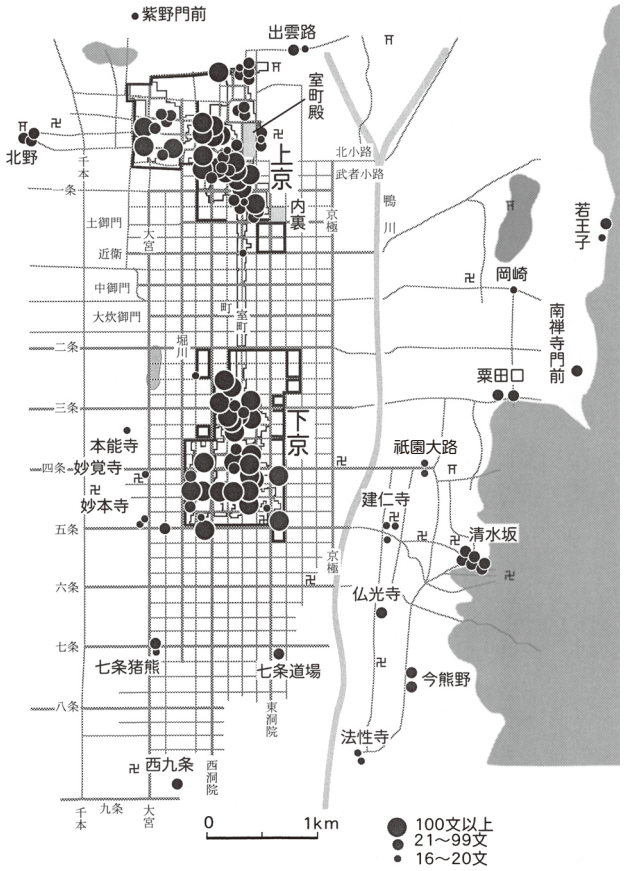
キョウ：そういえば，経済が発達したことによってⓒ様々な芸術や文化が発達したと書いている本もあったよ。戦乱によって荒廃した京都が富裕な商工業者たちによって復興されたように，京都の経済活動は活発だったみたい。

ユウカ：この**図 1** は戦国時代の京都の地図だよね。黒い丸が集まっているけど，何を示しているんだろう。

キョウ：黒い丸は，戦国時代の酒屋の位置を示していて，丸の大きさによって，酒屋が負担した税の額を表しているんだよ。大きな丸が多いから，この頃の酒屋にはたくさんの銭が集まっていたんだろうね。もしかすると，黒い丸の場所の地中にはものすごい量の銭の入った容器が眠っているかもよ。

ユウカ：史料だけではなくて，発掘調査の報告書や当時の様子を描いた絵画を見ることも，中世の京都について詳しく知るための参考になりそうだね。

図1



（山田邦和『京都都市史の研究』により作成）

問 1 戦国時代の京都における商業の中心地を調べる方法に関して述べた次の文 **X**・**Y** と，その調査対象に該当する語句 **a** ～ **d** について，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 12

X 発掘調査の報告書によって，これがまとまって出土した場所を調べる。

Y 史料や京都を描いた絵画によって，これが所在した場所を調べる。

a 甕　　**b** 農　具　　**c** 見世棚　　**d** 関　所

① **X** — **a**　**Y** — **c**　　② **X** — **a**　**Y** — **d**

③ **X** — **b**　**Y** — **c**　　④ **X** — **b**　**Y** — **d**

日本史B

問 2　下線部ⓐに関連して，平安京の周辺に造られた寺院に関して述べた次の文 **Ⅰ**～**Ⅲ**について，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 13

Ⅰ　法皇が法勝寺を造立して巨大な仏塔を築き，権勢を誇った。

Ⅱ　極楽浄土を表現した阿弥陀堂を中心とする法成寺が造営された。

Ⅲ　禅宗が宋から伝来し，禅宗寺院が建立された。

① **Ⅰ** — **Ⅱ** — **Ⅲ**　② **Ⅰ** — **Ⅲ** — **Ⅱ**　③ **Ⅱ** — **Ⅰ** — **Ⅲ**
④ **Ⅱ** — **Ⅲ** — **Ⅰ**　⑤ **Ⅲ** — **Ⅰ** — **Ⅱ**　⑥ **Ⅲ** — **Ⅱ** — **Ⅰ**

問 3　下線部ⓑに関連して，次の**史料 1** は 1500 年に室町幕府が京都で発布した撰銭令である。また，後の**史料 2** は 1485 年に大内氏が山口で発布し，1500 年においても有効だった撰銭令である。**史料 1** ・ **2** によって分かることに関して述べた後の文 **a** ～ **d** について，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 14

史料 1

商売人等による撰銭の事について

近年，自分勝手に撰銭を行っていることは，まったくもってけしからんことである。日本で偽造された私鋳銭については，厳密にこれを選別して排除しなさい。永楽銭・洪武銭・宣徳銭は取引に使用しなさい。

（『建武以来追加』大意）

史料 2

利息付きの貸借や売買の際の銭の事について

永楽銭・宣徳銭については選別して排除してはならない。さかい銭(注 1)・洪武銭・うちひらめ(注 2)の三種類のみを選んで排除しなさい。

(『大内氏掟書』大意)

(注 1)　さかい銭：私鋳銭の一種。
(注 2)　うちひらめ：私鋳銭の一種。

a　使用禁止の対象とされた銭の種類が一致していることから，大内氏は室町幕府の規制に従っていたことが分かる。

b　使用禁止の対象とされた銭の種類が一致していないことから，大内氏は室町幕府の規制に従ってはいなかったことが分かる。

c　永楽通宝は京都と山口でともに好んで受け取ってもらえ，市中での需要が高かったことが分かる。

d　永楽通宝は京都と山口でともに好んで受け取ってもらえず，市中での需要が低かったことが分かる。

①　**a・c**　　②　**a・d**　　③　**b・c**　　④　**b・d**

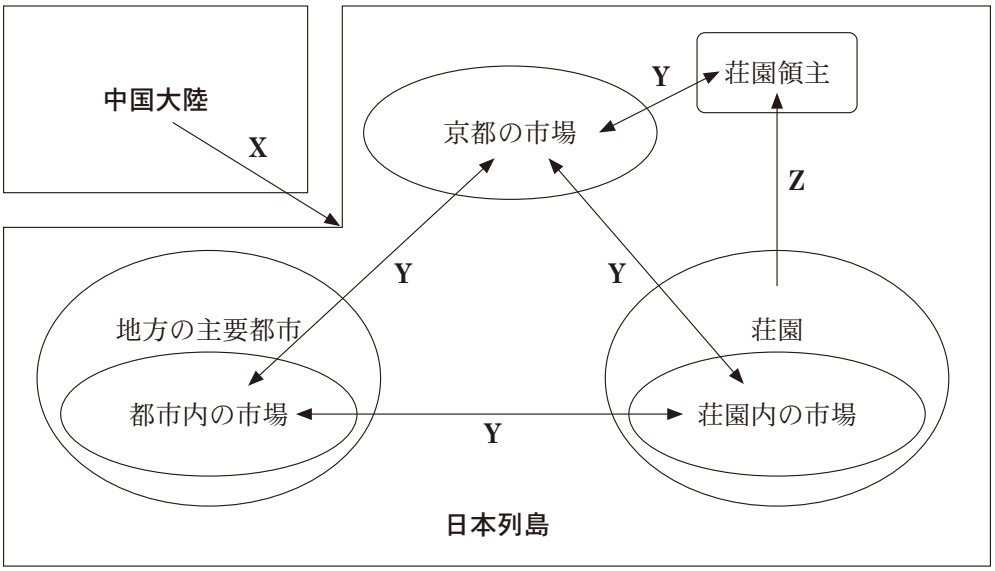
問 4　下線部Ⓒに関連して，京都で花開いた芸術や文化に関して述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 15

①　擬人化した動物を用いて描いた『鳥獣戯画』が作られた。
②　「道理」の展開から歴史の推移を説いた『愚管抄』が著された。
③　床の間を飾る立花様式が池坊専慶らによって大成された。
④　禅の世界を具現化した大和絵である『瓢鮎図』が描かれた。

日本史B

問 5 ユウカさんとキョウさんは，中世の京都について調べた内容を踏まえて，中世における経済の動きの特徴を模式的に示し，次の**図 2** にまとめた。中世の財貨の動きを示した**図 2** の矢印 **X** ～ **Z** と，それに該当する語句 **a** ～ **f** について，最も適当なものの組合せを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 16

図 2



a 鋳造された銭　　**b** 産出された金

c 為　替　　**d** 借　上

e 代銭納　　**f** 酒屋役

① **X** — **a**　**Y** — **c**　**Z** — **e**　　② **X** — **a**　**Y** — **c**　**Z** — **f**

③ **X** — **a**　**Y** — **d**　**Z** — **e**　　④ **X** — **a**　**Y** — **d**　**Z** — **f**

⑤ **X** — **b**　**Y** — **c**　**Z** — **e**　　⑥ **X** — **b**　**Y** — **c**　**Z** — **f**

⑦ **X** — **b**　**Y** — **d**　**Z** — **e**　　⑧ **X** — **b**　**Y** — **d**　**Z** — **f**

第 4 問　次の文章は，日本史の授業を受けている高校生のナツさんとアキさんが，江戸時代における人々の結びつきについて話し合った際の会話である。この文章を読み，後の問い(**問 1 ～ 5**)に答えよ。(史料は，一部省略したり，書き改めたりしたところもある。)(配点　16)

ナ　ツ：江戸時代の武士たちの結びつきってどんなものだったのかな？

ア　キ：例えば彦根藩士や対馬藩士は，自分たちを「井伊掃部頭(かもんのかみ)家中」「宗対馬守家中」と称しているよね。

ナ　ツ：同じ主君に仕える家臣たちは，主君の家の一員とみなされ，一体感があったようだね。庶民はどうだったのかな？

ア　キ：人口の大半を占める百姓たちは，日頃は村で過ごして，村や地域の中で深い結びつきをもっていたんじゃないかな。

ナ　ツ：電車やインターネットもない時代だから，遠くにいる人との結びつきは限られていただろうね。

ア　キ：でも，17 世紀前半に，［ア］ことなどによって，江戸と全国を結ぶ陸上交通が発達したんだよね。

ナ　ツ：17 世紀中頃までには，［イ］ために，水上交通も発達したんだね。

ア　キ：特に都市では<u>ⓐ商人や職人が仲間・組合をつくるようになり</u>，幕府も物価統制などにそれを活用したことも知られているね。

ナ　ツ：町内のつながりや商人・職人の仲間以外にも，都市では緩やかな結びつきがあったんじゃないかな。<u>ⓑ文化的な結びつき</u>も広がっていったみたいだね。

ア　キ：水上交通といえば，船が漂流して，外国に漂着することもあったみたい。<u>ⓒ近隣諸国との間で，漂流した人々を送り返すことも行われていたようだよ</u>。海外ともいろいろな形で結びついていたことが分かるね。

日本史B

問 1　次の文 **a** ～ **d** のうち，会話文中の空欄［ア］［イ］に入る文の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［17］

a　諸大名が江戸に屋敷をかまえ国元との間を往来するようになった

b　交通の障害となる箱根の関や新居の関といった関所が廃止された

c　御蔭参りなどに出かける多くの旅客を運ぶ

d　年貢米や材木など大量の物資を運ぶ

① ア ― **a**　イ ― **c**　　② ア ― **a**　イ ― **d**

③ ア ― **b**　イ ― **c**　　④ ア ― **b**　イ ― **d**

問 2　下線部ⓐに関連して，商人や職人の仲間・組合やそれに関わる政策に関して述べた次の文 **Ⅰ** ～ **Ⅲ** について，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［18］

Ⅰ　幕府は，輸入生糸を糸割符仲間に一括して購入させる制度を始めた。

Ⅱ　江戸では，問屋仲間の連合体である十組問屋が結成された。

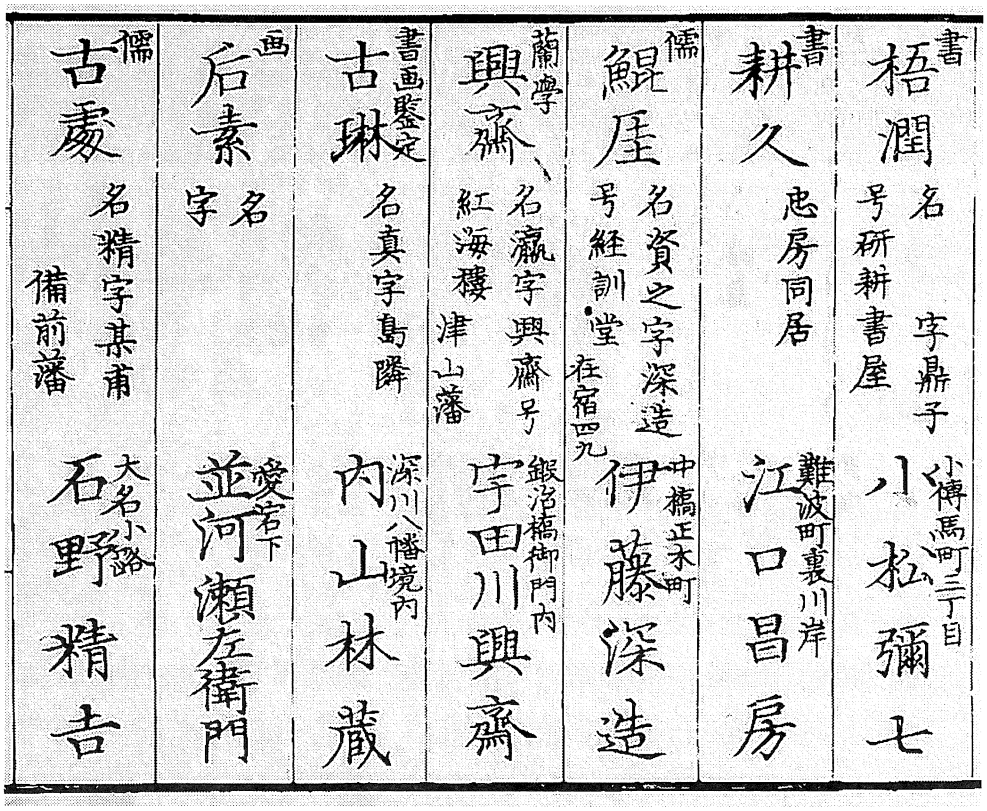
Ⅲ　幕府は，商人や職人の仲間を株仲間として広く公認したほか，銅座や真鍮座，人参座を設けた。

① **Ⅰ** ― **Ⅱ** ― **Ⅲ**　　② **Ⅰ** ― **Ⅲ** ― **Ⅱ**　　③ **Ⅱ** ― **Ⅰ** ― **Ⅲ**

④ **Ⅱ** ― **Ⅲ** ― **Ⅰ**　　⑤ **Ⅲ** ― **Ⅰ** ― **Ⅱ**　　⑥ **Ⅲ** ― **Ⅱ** ― **Ⅰ**

問 3　下線部ⓑに関連して，ナツさんとアキさんは次の**史料 1** とその**解説**を読んだ。**史料 1** は，1860 年に江戸で刊行された『安政文雅人名録』という文化人名簿の一部である。この**史料 1** に関して述べた後の文**X**・**Y**について，その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 19

史料 1



解説

上段の「梧潤」などは彼らが文化人として名乗った名前であり，右肩には，「書」など彼らの得意とする文化ジャンルが小さく書かれている。中段の記載からは，仕えている藩の名前なども確認できる。下段の「小松彌七」などは文化活動以外の場における名前であり，右肩には「小傳馬町三丁目」など彼らの居住する江戸の地名が書かれている。

X　**史料 1** に載る文化人は，江戸を居所としていたので，関東以外の場所に領地を有する大名には仕えることができなかった。

Y　**史料 1** に載る文化人の中には，書画などを得意とする者だけでなく，西洋の学術・文化を研究している者もいた。

① **X** 正　**Y** 正　　② **X** 正　**Y** 誤

③ **X** 誤　**Y** 正　　④ **X** 誤　**Y** 誤

問 4　下線部ⓒに関連して，ナツさんとアキさんは次の**史料 2** を読んだ。**史料 2** は，日本の船が漂流して，1751 年に中国に漂着した件について，後に長崎でまとめられたものである。この**史料 2** に関して述べた後の文 **a** ～ **d** について，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 20

史料 2

この者ども(注 1)，(中略)厦門(アモイ)に送られ，官所(注 2)において吟味これ有り。(中略)寧波府鄞県(ニンポーギン)(注 3)の信公興という商人に申し付けられ，船頭鄭青雲，財副(注 4)林栄山，外(ほか)に童天栄・黄福，この二人は日本に渡海馴(な)れたる者にて，少々日本詞(ことば)を覚えたる由にて，通弁(注 5)・介抱のため差し添え，十一月六日，寧波より出船，(中略)同二十日，当湊(みなと)に着船せり。右の厦門海防庁(注 6)許氏より咨文(しぶん)(注 7)一通，寧波府鄞県黄氏より咨文一通差し送り，(中略)菅沼氏より回咨(かいし)(注 8)二通，両所に相渡さる。

(『長崎実録大成』)

(注 1)　この者ども：日本からの漂流民。
(注 2)　官所：中国の役所。
(注 3)　寧波府鄞県：現在の中国・寧波市にあった行政区域・行政機関。
(注 4)　財副：会計を担当する副船長格の船員。
(注 5)　通弁：通訳。
(注 6)　海防庁：海岸部の防衛に当たった役所。
(注 7)　咨文：公文書。
(注 8)　菅沼氏より回咨：長崎奉行菅沼定秀の返書。

a　**史料 2** によれば，漂流民の送還に当たって，中国の役人と日本の役人との間で公文書がやりとりされた。

b　**史料 2** によれば，漂流民の送還に当たって，中国の役人が日本まで同行して漂流民を送還した。

c　この漂流事件が起きた当時，中国と日本との間に正式な外交使節の往き来はなかった。

d　この漂流事件が起きた当時，中国から日本に来航する貿易船の数や貿易額はまだ制限されていなかった。

①　**a・c**　　②　**a・d**　　③　**b・c**　　④　**b・d**

問 5　ナツさんとアキさんは，話し合いと授業の内容を踏まえて，調べたことをまとめた。江戸時代における人々の結びつきについて述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 21

①　彦根藩井伊家のような大名の家臣団は，主君と家臣が血縁によって結びついている集団だと考えられる。

②　江戸時代における村民の結びつきは強く，幕府もそれに依拠して年貢などの諸負担を村全体の責任で請け負わせたと考えられる。

③　江戸では，武士と町人の居住地が分けられており，武士の文化である俳諧や川柳を町人がたしなむことも許されなかったと考えられる。

④　江戸時代後期には奉公人や出稼ぎ人が多くなったので，幕府は彼らに寄場組合（改革組合村）をつくらせ風俗を取り締まらせたと考えられる。

日本史B

第 5 問　演劇部に所属する高校生のタクさんとユキさんは，幕末から明治にかけての日本を主な舞台とした劇の台本を作成することにした。劇の構想をまとめた次の**メモ**と，タクさんとユキさんとの**会話**を読み，後の問い(**問 1** ～ **4**)に答えよ。なお，この問題の文中に出てくる年齢は満年齢である。(史料は，一部省略したり，書き改めたりしたところもある。)(配点　12)

メモ

主人公：牧野りん(1860 年生まれ，1910 年没)
※りんの父は，東北地方のある藩の藩士(明治期は士族)
※りんをはじめ，登場人物は架空の人物
内　容：幕末から明治にかけて，時代が大きく変わるなか，りんが苦難を乗り越えながら成長する様子を描いた物語

会話

タ　ク：面白い劇ができそうだけど，過去の時代を題材にするとなると，その時代が実際にどんな時代だったかを調べる必要があるね。

ユ　キ：過去の時代を題材にした演劇や映画，ドラマでは，衣装や小道具，さらに物語の設定に関して，当時の状況や，歴史的事実(史実)に照らして適切かを検討する時代考証がよく行われるようだよ。

タ　ク：私たちの劇では，幕末から明治にかけての時代を取り扱うけれど，この時代は文化の面でも大きな変化があったから，例えばⓐ服装や身なりを考えてみても，時代考証をするのは大変そうだよね。

ユ　キ：それなら，主人公の牧野りんと同じ時代を生きた実在の人物について調べてみれば，手掛かりになるかもしれないよ。

タ　ク：さっそく図書室で調べてみようよ。台本の作成に役立つといいね。

問 1　設定された牧野りんの生没年の間に起きた出来事について述べた次の文**X**・**Y**と，それに該当する語句**a**～**d**との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 22

X　牧野りんが4歳になる頃，この地が，イギリス・フランス・アメリカ・オランダの連合艦隊によって砲撃された。

Y　牧野りんが13歳になる頃，新しく設立された内務省の長官(卿)に，この人物が就任した。

a　鹿児島　　**b**　下　関

c　寺島宗則　　**d**　大久保利通

① **X** — **a**　**Y** — **c**　② **X** — **a**　**Y** — **d**

③ **X** — **b**　**Y** — **c**　④ **X** — **b**　**Y** — **d**

問 2　下線部ⓐに関連して，幕末から明治期にかけての服装や身なりに関わる出来事に関して述べた次の文**Ⅰ**～**Ⅲ**について，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 23

Ⅰ　政府が軍人と警察官以外の者の帯刀を禁止したことなどに不満を抱いた士族たちが，熊本で反乱を起こした。

Ⅱ　洋装での舞踏会を催すなど，欧化政策をとった人物が，条約改正交渉に関して世論の反発を受け，外務大臣を辞任した。

Ⅲ　伊勢神宮の御札などが降ってきたことを機に，人々が乱舞する流行が生じ，その乱舞では男性の女装や，女性の男装が見られることがあった。

① **Ⅰ** — **Ⅱ** — **Ⅲ**　② **Ⅰ** — **Ⅲ** — **Ⅱ**　③ **Ⅱ** — **Ⅰ** — **Ⅲ**

④ **Ⅱ** — **Ⅲ** — **Ⅰ**　⑤ **Ⅲ** — **Ⅰ** — **Ⅱ**　⑥ **Ⅲ** — **Ⅱ** — **Ⅰ**

日本史B

問 3 タクさんとユキさんは，図書室で調べるなかで，牧野りんと同じ時代を生きた実在の人物として，男女同権を求めて活動した1863年生まれの岸田(中島)俊子に注目した。次の**史料**は，岸田が1884年に発表した文章の一部である。この**史料**に関して述べた後の文**X**・**Y**について，その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 24

史料

男子たるものは，(中略)大抵教えを受けざるはなし。よしや(注1)教えを受けざるも，男子は世の中に奔走して弘く人と交るが故に，女子の閨閫(注2)の中にとじこもりて，人交りも得せぬ様に(注3)せられぬるものとは，其の知識の進みも大なる差異あらねばならぬ訳なるべし。然ればむかしより，男子のすぐれたるもの女子よりも多かるの理は，教うると教えざるとの差い，又世に交ることの広きと狭きとに依るものにて，自然に得たる精神力に於て差異あるものにははべらぬぞかし。

(『自由燈』9号)

(注1) よしや：たとえ。
(注2) 閨閫：部屋。
(注3) 得せぬ様に：できないように。

X **史料**によれば，岸田俊子は，男性と女性との知識の差は，教育や人的交流の機会の差によって生じたものだと述べている。

Y **史料**が書かれた当時の女性は，小学校で国定教科書に基づく義務教育を受けていた。

① **X** 正 **Y** 正　② **X** 正 **Y** 誤
③ **X** 誤 **Y** 正　④ **X** 誤 **Y** 誤

問 4 タクさんとユキさんは，図書室で調べた岸田俊子の生涯を参考に，牧野りんの生涯を次のように設定した。その上で，同じ演劇部員のカイさんとともに時代考証を行うことにした。次の**生涯の設定**を読み，3人の時代考証に関する**発言**の波線部について述べた文として正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 25

生涯の設定（時代考証前の文章で，史実に照らして修正すべき点がある。）

明治になり，りんの父は屯田兵として，りんたちを連れて札幌近郊に移住した。しかし病におかされ，りんが16歳の時に亡くなる。その後，りんは親族をたよって東京に移り，自由民権運動に携わった。20歳の時に，りんは自由民権運動を通じて知り合った憲政党の男性と結婚し，21歳から8年間，夫とともにドイツで暮らした。欧米で展開されていた女性の権利拡大の運動に感銘を受けたりんは，帰国後，女子教育の発展に生涯をささげた。

発言

タ　ク：設定上，りんの父が屯田兵となっているけど，史実として，りんの父が亡くなる前に屯田兵に応募できたのは平民だけだよね。この設定は修正したほうがいいと思う。

ユ　キ：史実として，憲政党の結成は，りんが設定上で結婚した年よりも後のことだよね。この設定は修正したほうがいいと思う。

カ　イ：設定上で，りんがドイツに滞在していた期間に，史実として，明治政府の要人がドイツで憲法調査を行っているよね。劇の背景に，こうした日本とドイツとの関係を追加できるね。

① 3人とも正しい。
② 3人とも間違っている。
③ ユキさんのみ正しい。
④ タクさんのみ間違っている。

日本史B

第 6 問　修学旅行をひかえたカヅキさんは，「旅」をキーワードに調べ学習をした。学習の過程で作成した次の資料**A**・**B**を読んで，後の問い(**問 1** ～ **7**)に答えよ。(資料は，一部省略したり，書き改めたりしたところもある。)(配点　22)

A　修学旅行の歴史

1886 年　ⓐ東京師範学校が千葉県銚子まで徒歩で「長途遠足」を実施する。
1887 年　公文書に「修学旅行」の語が登場する。
1889 年　山梨県女子師範学校が修学旅行を実施する(京都・三重・東京)。
1896 年　ⓑ長崎商業学校がはじめて海外修学旅行を実施する(上海)。
1906 年　陸軍省と文部省の主催で，中学生以上の生徒を対象とする合同満州修学旅行が実施される。以後，ⓒ満州と朝鮮への修学旅行が増大する。

問 1　下線部ⓐに関して述べた次の文章について，空欄［ア］［イ］に入る語句の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［26］

師範学校は教員養成を目的とした学校で，最初に設けられたのは東京師範学校である。その設立年は，［ア］学校を設置することを目指した「学制」の公布と同じである。師範学校の制度は，1886 年に公布された師範学校令によって確立され，1947 年に公布された［イ］によって六・三・三・四の新学制が発足する際に国立大学の教育学部などに再編された。

① ア　地方の実情を考慮して　　イ　教育令
② ア　地方の実情を考慮して　　イ　学校教育法
③ ア　全国画一的に　　イ　教育令
④ ア　全国画一的に　　イ　学校教育法

問 2　下線部ⓑに関連して，その時の修学旅行生の上海での体験記を示した次の**史料1**の内容に関して述べた後の文**X**・**Y**について，その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 27

史料1

まず眼(め)につくものはさすがは国際的繁栄の都市で，見馴(みな)れぬ高層建物や多種多様の人々(中略)でした。上海滞在は2，3日で，その間長崎出身某氏の経営せるホテルにわれわれ一行招待を受けました。(周囲から)「東洋鬼」の罵声(ばせい)を浴びつつ支那(注)人街や城内などの見物をなし，戦勝の結果利権を得て新設された東華紡績工場の見物やらですごし(中略)神戸丸で長崎へ帰りました。

(長商創立75周年記念誌編集委員会編『長商卒業生の生活と意見』)

(注)　支那：当時用いられた中国の呼称。

X　修学旅行生が「国際的繁栄の都市」と称した上海は，安政の五か国条約の締結よりも前に開港していた。

Y　修学旅行生は，日清戦争の勝利で日本が得た利権の一端を目撃したり，清国の敗北に対する上海市民の反応を体験したりした。

① **X** 正　**Y** 正　　② **X** 正　**Y** 誤

③ **X** 誤　**Y** 正　　④ **X** 誤　**Y** 誤

日本史B

問 3　下線部Ⓒに関連して，次の**表 1** は大阪府女子師範学校が，1938 年 5 月に実施した修学旅行の行程の一部を示したものである。この旅行の訪問地の説明として正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 28

表 1　大阪府女子師範学校の修学旅行の行程表(1938 年 5 月)

訪問日	訪問地	おもな訪問先
14～15 日	釜山・京城	朝鮮神宮・総督府・パゴダ(タプコル)公園
16 日	平壌	平壌神社・博物館・朝鮮住宅
17～18 日	奉天・撫順	鴨緑江・炭鉱・工場
19～21 日	新京・ハルビン	新京神社・関東軍司令部・日本人小学校
22 日	奉天	奉天神社・北大営・奉天城
23～25 日	大連・旅順	満鉄本社・露天市場・大連神社

(奈良県立図書情報館「子どもたちが見た満州」により作成)

① 14～15 日に滞在した都市にある総督府の初代総督は桂太郎である。

② 17～18 日の訪問地で神社を訪れていないのは，外国である満州国に神社がなかったからである。

③ 日中戦争のきっかけとなる衝突は 22 日の訪問地の郊外で起きた。

④ 関東都督府は 23～25 日の訪問地の一つにかつて設置されていた。

B　旅行の変化に関するメモ

〈戦前〉　生きるための旅からレジャーの旅へ
・生きるための旅・・・ⓓ炭鉱労働者，行商人，巡礼者
・ⓔ訪日客誘致を目的にジャパン・ツーリスト・ビューロー設立(1912 年)

〈戦後〉　レジャーの旅の拡大
・ⓕ博覧会などのイベント開催　→　旅行活性化＝地域活性化が期待される
・海外旅行：海外渡航の自由化(1964 年)　→　ⓖアジアの新興国への旅行が増大

問 4　下線部④に関連して，次の**表 2** と**史料 2** に関して述べた後の文 **a** ～ **d** について，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 29

表 2　炭鉱労働者の出身地別・勤続年数別の比率（小数点以下は四捨五入）

炭　鉱	他府県出身比率（%）	勤続年数別比率（%）			
		1 年未満	2 年未満	3 年未満	3 年以上
A	49	61	29	8	3
B	35	64	23	6	8
C	48	55	21	12	12
D	63	56	19	10	15
E	51	36	28	18	17
F	56	48	17	14	21

（農商務省鉱山局編『鉱夫待遇事例』により作成）

史料 2　炭鉱における家族労働

亭主は一足先に入坑し切羽（注 1）に挑んでおる。女房は（家事の）あと始末をして，いとけない十才未満の倅に幼児をおわせ，四人分の弁当（中略）担げて（注 2）ワレも滑らず，うしろも転ばぬ様に気を配りつつさがり行く。此の場合大人がおんぶすれば安全だが何分坑道が低く，幼児が頭を打ちつける，他人に幼児を預けると十銭（中略）いるから大変，よって学校は間欠（注 3）長欠になるわけであった。　（山本作兵衛「入坑（母子）」）

（注 1）　切羽：堀り進めている坑道の先端。切場。
（注 2）　担げて：肩にのせて。かついで。　（注 3）　間欠：一定の期間休むこと。

a　**表 2** によると，いずれの炭鉱においても労働者の 3 分の 2 以上が勤続年数 3 年未満であり，1 年未満が最も多かった。

b　**表 2** によると，他府県出身の労働者が多ければ多いほど，勤続年数が短くなる傾向があった。

c　**史料 2** によると，炭鉱内に女性は入ることができず，炭坑労働者の妻は夫の弁当を男の子に届けさせなければならなかった。

d　**史料 2** によると，子供の教育よりも家計を優先する炭鉱労働者がいたことが分かる。

① **a・c**　② **a・d**　③ **b・c**　④ **b・d**

日本史B

問 5 下線部ⓔに関して，カヅキさんは，設立の事情を調査・考察した。その内容をまとめた文章として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 30

① 当時，外国人を日本各地に移住させる目的で，地方改良運動が行われていた。この成果を，訪日客の見聞を通して世界に知らせる意図があった。

② 当時の欧米では，日露戦争による日本でのファシズムの高まりが懸念されていた。この懸念を，訪日客の見聞を通して払拭できるという期待があった。

③ 当時の日本は，産業革命のなかで生じた貿易赤字に苦しんでいた。この問題を，訪日客がもたらす外貨で緩和させる意図があった。

④ 当時，日本以外のアジアでは民族自決原則に基づく独立運動が活発化し，治安が悪化していた。そのため，訪日客が増大するという期待があった。

問 6 下線部ⓕに関連して，カヅキさんは，沖縄国際海洋博覧会に関する複数の新聞を調べて，次の**見出し一覧**を作成した。そこから読み取れることに関して述べた後の文 **a** ～ **d** について，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 31

見出し一覧

- 1975 年に「沖縄海洋博」　復帰記念し大々的に（1971 年 3 月）
- 豊かな沖縄へのきっかけに　知事が談話（1972 年 5 月）
- 海洋博　基地脱却　東洋のハワイめざす（1973 年 3 月）
- 沖縄経済パンクさせるな　物価高あおる海洋博（1973 年 3 月）
- “沖縄の心”は揺れ動いている　「本土の人たちの祭り」「景気浮揚の起爆剤に」（1975 年 7 月）
- 海洋博 2 か月　観光客は増えても本土の資本が吸いあげ（1975 年 9 月）
- 海洋博が去った沖縄　倒産・失業だけが残った　聞こえてくる本土への恨み節　基地居座り「戦後」は続く（1976 年 9 月）

a　海洋博の開催は，沖縄がアメリカ施政権下にあった時期から検討されていた。

b　海洋博の開催の検討は，沖縄の施政権が日本に返還されてから始まった。

c　海洋博の開幕で観光客が増えると，海洋博による沖縄の景気回復を歓迎する論調が優勢になった。

d　海洋博の開幕で観光客が増えた後も，経済的な利益を得ているのは本土の企業であると，沖縄では不信感が募った。

①　**a**・**c**　　②　**a**・**d**　　③　**b**・**c**　　④　**b**・**d**

問 7　下線部ⓖに関連して，第二次世界大戦後の日本とアジアの関係に関して述べた次の文**X**・**Y**について，その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 32

X　冷戦のなかで，西ヨーロッパと同様に東アジアでもアメリカを中心とする多国間の共同防衛組織が結成され，日本も加盟した。

Y　新興独立諸国との親善を目的に，日本の主催により，第1回アジア・アフリカ会議が東京で開催された。

①　**X**　正　　**Y**　正　　②　**X**　正　　**Y**　誤

③　**X**　誤　　**Y**　正　　④　**X**　誤　　**Y**　誤